

令和6年度

子育て支援つうしん

発行 社会福祉法人 函館共愛会 認定こども園
令和6年12月1日

今回のテーマは？

4月にいただいたアンケートの中から「発達」に関してピックアップしてご紹介します。

※子育て支援に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。



～ かんしゃくについて ～ こんな時どうしたらいいの？

1歳児…痾癢がすごいのが悩みです。また、しつけのあり方についても悩んでいます。

1歳児…痾癢を起して奇声を発している時の対処法を知りたいです。

5歳児…うまくいかない時に物に当たったり、大きな声を出して泣いて手がつけられなくなります。

痾癢は多くの場合、子どもが自分の感情を適切に表現する方法をまだ学んでいないために起こります。

まずは子どもが自分自身や他人を傷つけないようにすることが大事ですから、周囲に危険なものがないかを確認し、安全な場所に移動させましょう。

すぐには解決しようとせず、子どもに感情を落ち着かせる時間を与えることが重要です。無理に話をしたり論そうとすると逆効果になることがあります。自分の感情を理解し受け入れる時間を持てるようにしましょう。

低年齢ではまだ、言葉で気持ちを十分に表現できない時期です。「うれしいね」「楽しいね」「いやだったね」と大人が子どもの気持ちを代弁していくことも大事な関わりです。普段の生活で痾癢を起こさずに過ごせた時も、たくさん褒めてあげましょう。

様々な情報があふれていて不安になったり、周りのお友達と我が子を比べてしまうなど心配になることはありませんか？



思い通りにならないとすぐに泣きわめいて…。仲良く遊んでほしいのに。

いつも1人で遊んでいるけど心配だわ…。

～ 平均的な発育の過程について ～ (あくまでも目安です)

	運動	ことば	人との関わり	学習の基礎	生活習慣
6カ月～1歳	ずわる立つ 	ダメという手をはっきりさせる 	人への関心を示す 	絵本などの絵をしつと見る 	コップから飲むようになる
1歳～2歳	歩く 	簡単な指示がわかる 	関心のあるものを指さして伝える 	なぐり書きをする 簡単な型はめパズルをする 	スプーンで食べようとする
2歳～3歳	手すりを持って階段を上る 	大きい小さいがわかる 二語で話す 	ケンカすると大人にいつけに行く 	たて線や横線、丸をかく 同じ絵を合わせる 	クツやクツをはく
3歳～4歳	前転ができる 	形容詞(熱い・冷たい)などを使って話す 色の名前を言える 	順番を守って遊ぼうとする 	クレヨンでぬる ハサミで直線にそって切る 	簡単な着脱が自分でできる
4歳～5歳	片足とびができる 	前後左右がぼほわかる 	同年齢の友だちと役割を決め協力して遊ぶ 	6までの数字がわかる 曲線をハサミで切る 	ファスナーやボタンの着脱ができる
5歳～6歳	なわとびがとべる 	じゃんけんの勝敗がわかる 	テーマにそって会話する ルールのある遊びを楽しむ 	自分の名前をかく 三角をかく ひらがなを讀んで意味がわかる 	簡単な料理の手伝いをする

～ 集中・理解力・落ち着きについて ～

2歳児…今の月齢での発達は正常なのか知りたい(落ち着き・理解力)

3歳児…注意が常に様々な方向に向いてしまい、目の前のやるべき事に集中できません。

楽しそうなこと・興味のあることに気持ちが集中してしまい、落ち着きのない行動になるのは、子どもにはよくあることです。注意力・集中力・感情の抑制などは、脳が成熟しているかどうか重要です。年齢を重ねていくと自然とそれらの力がつき、少しずつ落ち着いた行動ができるようになってきます。



子どもの『個性』を頭ではわかっていてもわが子の成長はとても気になるものです。発達には個人差がありますが、気になる様子が見られるときは、下記のチェック表を目安に確認してみましょう。

ほかの子と少し違うみたい・・・

- ☑ 目が合いにくい(目を合わせようとしない)
- ☑ 日常の会話でオウム返しが多い
- ☑ お友だちに興味を持たず、自分の好きなことをしている
- ☑ 聞いていることに答えずに一方的に話すので会話にならない
- ☑ 予定の変更や突然の出来事に混乱しパニックになる
- ☑ おもちゃの部品など一部分に興味を集中し、おもちゃをクルクル回したり、ひらひら動かして遊ぶことが多い
- ☑ 身体をグルグル回したり、とびはねたり、手をヒラヒラさせるなどの動作を繰り返すことがある
- ☑ 急に機嫌が悪くなり、泣きわめいたりかんしゃくをおこすことがよくある
- ☑ 食べ物の好き嫌いが激しい
- ☑ それほど大きな音でなくとも耳をふさいだり、身体にさわられることをとても嫌がる



年齢を重ねていくうちに、他の人がおいしいように食べているのを見て自分も食べてみよう!と偏食が少なくなっていくこともあります。

こども園では気持ちを切り替えられるよう予告をして、見通しを持って生活できるよう関わっています。

ちょっと落ち着きがないのですが・・・

- ☑ 落ち着きがなく、急に走り回ったりする。イスにすわっていることも苦手。
- ☑ 高いところへのぼったり、危険なことを平気でする。
- ☑ 質問を最後まで聞こうとしないで答えてしまうことが多い
- ☑ 一つの遊びが長続きしないで、次々と遊びを変える
- ☑ 順番を守ったり、ルールを守ることができずにさわぐ
- ☑ 自分の思いどおりにならないと、人をたたいたり、けつたり、物を投げたりする



もうすぐ学校に入るのだけれど・・・

- ☑ 身体の動きがぎこちなく、体操やお遊戯がにがて
- ☑ 聞き間違いや聞き漏らしが多い
- ☑ 自分の言いたいことを相手に伝えるのがとてもにがて
- ☑ 文字や数に興味を持たず、なかなか覚えられない
- ☑ 不器用で絵を描いたり工作をすることがとても苦手



子ども一人一人によって発達の段階は違います

気になる項目があるようでしたらこども園で連携している関係機関もありますので、ご相談下さい。記載の機関は函館市のホームページから引用して掲載しています。

こども園以外の相談窓口

児童発達支援センター(つくしんぼ学級・うみのほし・にじのはし・にじのおと)では保育所等訪問支援や相談支援事業も行っています。また、函館市は地域ごとに担当保健師がいて園に子ども達の様子を見に来てもらうこともできます。まずはこども園にご相談ください。

機関名	所在地	電話番号
函館市子ども未来部母子保健課 (函館市総合保健センター)	五稜郭町23-1	32-1533
函館市保健福祉部障がい保健福祉課 相談支援・精神保健担当	東雲町4-13	(身体・知的) 21-3302 (精神) 21-3077
函館市保健福祉部亀田福祉課相談窓口	美原1丁目26-8	45-5482
北海道函館児童相談所	中島町37-8	54-4152
ばすてる(障害者生活支援センター)	石川町90-7	34-2611
あおいそら(発達障害者支援センター)	石川町90-7	46-0851
つくしんぼ学級(こども発達支援センター)	北斗市追分7丁目8-8	49-0699
はこだて療育・自立センター診療所	湯川町2丁目39-26	36-0500
ゆうあい会石川診療所	石川町41-2	46-6641